

★廃食油でキャンドルを作ろう★

廃食油（はいしょくゆ=あげものにつかった後のあぶら）からのキャンドル作り（アルミカップ20こ分）

よういするもの

- ・廃食油・・・550mlくらい
- ・「固（かた）めるテンブル」・・・1本
- ・クレヨン（クレパスはあぶらにとけないのでダメ）・・・好きな色で1/3本くらい
- ・牛乳（ぎゅうにゅう）パック再利用（さいりょう=もういちどつかって作った）のリサイクル紙ひも・・・3cmに切ったものを20本（ろうそくの「しん」用）
- ・アルミカップ・・・小さいもの20こ　　・わりばし・・・3ぜん分（つかい古したものでよい）
- ・カッター（またはクレヨンをきざめるもの）とはさみ　　・まな板がわりのあつ紙
- ・なべ・・・500mlのあぶらをかきまぜることができる大きさ
- ・おたま・・・小さめで、そそぎ口がくちばしの形になっているものがつかいやすい
- ・料理用温度計（りょうりょうおんどけい）・・・なくてもよいが、あればやりやすい
- ・新聞紙（しんぶんし）・・・作る時の台をよごさないようにしておくもの

●やくそく●

- ① つくるときは、おうちの人といっしょにやりましょう。
- ② この紙をおうちの人といっしょによく読んでください。

もえないお皿お皿にのせてね！

作り方

1. 廃食油を500mlと50mlに分けておく
 2. クレヨンはあらかじめきざんでおく
 3. リサイクル紙ひもを3cmで20本分切り、廃食油50mlの中につけておく
 4. なべに廃食油500mlを入れ、80℃～90℃に加熱（かねつ=火にかけるなどして、あつく）する。料理用温度計がない時は、なべの中のあぶらがプツプツと音をたてはじめたら、火をけす
 5. 「固めるテンブル」1本を入れて、わりばし4本でかき回す
 6. きざんだクレヨンを入れて、さらによくかき回す
 7. とけて少しさめたら、アルミカップに分けてそそぐ
 8. 廃食油の中につけておいたリサイクル紙ひもをわりばしでつかみ、アルミカップの中にまっすぐさしこむ。「しん」にするため、表面（ひょうめん）から1cmくらい出るように立てる。
- ※ろうそくがかたまらないときは、もういちどなべにもどして、「固めるテンブル」を少しし、まぜて少しさめたら、アルミカップにそそぎなおす。



ちゅうい

1. 作っている時は、ぜったいに、火から目をはなさないでください。
2. このろうそくはやわらかいので、よこにしたり、ひっくりかえしたりすると、ろうそくのあぶらがながれだすことがあります。上むきにしてもちはこんでください。
3. 赤ちゃんやペットなどが、まちがえて食べたりしないようなばしょにおいてください。
4. 作ったキャンドルに火をつけるときは、必ず、おとなの人にやってもらってください。

おとなの方へ：必ずお読みください

警告！（火事の危険）：陶磁器や金属の皿などに入れてご使用ください。燃えやすい物のそばや倒れやすい場所では使用しないでください。火を灯したら移動させたりせず、絶対にその場を離れないでください。風や地震などにより転倒するおそれがあります。ご使用後は火が完全に消えている事を確認してください。

警告！（やけどの危険）：ご使用中、ご使用後はキャンドル全体が熱くなっておりますので、触れないでください。溶けた口ウが飛び散る可能性があるため、至近距離で思い切り吹き消さないでください。

注意！原料は、廃食油です。飲食物ではありません。溶けやすいので、高温多湿、直射日光の当たる所に置かないでください。灯した明かりを見て楽しむ以外の目的で使用しないでください。点火から消火の確認が済むまで、必ず大人がそばに居てください。

☆ ☆ ☆

手作りのささやかなキャンドルが、市販のろうそくと同様に、辺りを照らし、気持ちを和ませてくれます。処理剤で固めた廃食油も、資源物であると気づいていただけましたでしょうか。現在、廃食油からは、石けんやペンキ、ディーゼル車に使用できる燃料（BDF）などにリサイクルされています。

川崎市地域女性連絡協議会